


一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 30 年 8 月 24 日	受理者印
午前 午後	1 時 00 分 受 理 

議会名	平成 30 年 第 3 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号	23 番	氏名 飯田 昌弘
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	<input type="checkbox"/> 一問一答 ・ <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 不登校と少人数学級編制について	<p>① 不登校児童生徒の平成 27 年度から 3 年間の人数をお伺いします。</p> <p>② 国、県と比較し、どのような現状でしょうか。</p> <p>③ 学年別の不登校児童生徒数をお伺いします。</p> <p>④ 問題行動の発生件数と要因をお伺いします。</p> <p>⑤ 小学校 5・6 年生で急激に増えています。現在 40 人の学級編制となっています。どのようにお考えでしょうか。</p> <p>⑥ 多くの先生にお伺いしたところ、35 人と 40 人では全く違います。学級経営、子どもと向き合う時間、家庭訪問等で多くの差が生まれます。と言うもので、少人数学級を希望していました。市全体としてはいかがでしょうか。</p> <p>⑦ 少人数学級を導入した場合のメリット、デメリットをお伺いいたします。</p> <p>⑧ 佐野市で問題と思われる 5, 6 年生について 35 人学級を取り入れるお考えをお伺いします。</p> <p>⑨ 導入すると仮定した場合の問題点をお伺いいたします。</p> <p>⑩ 平成 32 年開校予定のあそ野学園義務教育学校では 6 年生だけが 78 人で 2 学級編制、1 学級 39 人となり、その他は 3 学級となります。きめ細やかな対応をするために 1 学級増やして 3 学級に増やすべきと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>⑪ 県にはどのような要望をしていますか。</p> <p>⑫ 県での対応が難しい場合、市独自での対応を取る必要があると考えます。いかがでしょうか。</p> <p>⑬ 市独自で 1 学級増やした場合の概算経費をお伺いいたします。</p> <p>⑭ 市内には児童数がぎりぎり学級減となっている学校はどのくらいありますか。</p> <p>⑮ 学級数を増やす希望を叶えたとしたらどのような取り組みを構築し、経費はいかほどでしょうか。</p>		

2. 健康増進策について

(1) 特定健康診査とがん検診の受診率向上策について

- ① 特定健康診査の自己負担金を無料にした場合の詳細をお伺いいたします。
- ② 特定健康診査の自己負担金無償化をすぐにでも対応していただきたいと考えますが、当局のお考えをお伺いいたします。
- ③ 自己負担金が集団方式と医療機関方式では差があります。がん検診においては、統一した料金体系にするべきと考えますがいかがでしょうか。お伺いいたします。
- ④ 健康増進策としての健康マイレージ活動に特定健康診査やがん検診を取り入れるお考えをお伺いいたします。
- ⑤ 最後に、佐野市で考える特定健康診査の受診率向上策とがん検診の受診率向上策で健康寿命が延伸でき、県の平均値を上回る結果をどのように導き出していくのかをお伺いいたします。